

科目名	福祉社会開発研究方法論特講	2 単位
担当者	末盛 慶	
テーマ	研究を行う上で必要となる調査方法について理解を深める。	
科目のねらい	<p>&lt;キーワード&gt; 科学 研究方法 質的方法 量的方法 混合研究法</p> <p>&lt;内容の要約&gt;</p> <p>本講義では、研究を行う上で必要となる研究方法を学ぶ。具体的には、質的方法、量的方法、混合研究法を扱う。質的方法に関しては、質的方法の特徴、質的研究における研究課題の定め方、データ収集の仕方、質的データの分析方法等について解説する。量的方法に関しては、仮説の作成、質問紙の作り方、対象者の抽出方法、調査の実施方法、データの作成と多変量解析について学びます。混合研究法に関しては、混合研究法の定義、種類、研究の進め方、注意点等について説明を行います。</p> <p>&lt;学習目標&gt;</p> <p>科学の歴史と現状を理解する。質的方法を理解する。量的方法を理解する。混合研究法を理解する。</p>	
授業の進め方	<p>本科目は<b>オンデマンド授業になります。ディスカッションはありません。</b></p> <p>「nfu.jp」→「スタディ」から受講して下さい。</p> <p>各回のオンデマンド授業を視聴し、質問があれば掲示板に書き込んでください。進行の目安は、各回2週間程度とします。</p> <p>*動画視聴のみのオンデマンド科目のため、各回の講義日程はあくまでも目安です</p> <p>第1回 5月04日～ 科学とは何か：その歴史と現在</p> <p>第2回 5月18日～ 質的方法の概要</p> <p>第3回 6月01日～ 質的データの取り方</p> <p>第4回 6月15日～ 質的データの分析Ⅰ：グラウンデッド・セオリー・アプローチ</p> <p>第5回 6月29日～ 質的データの分析Ⅱ：修正版グラウンデッド・セオリー・アプローチ</p> <p>第6回 7月13日～ 質的データの分析Ⅲ：参与観察法・エスノグラフィー</p> <p>第7回 7月27日～ 質的データ分析Ⅳ：ケーススタディ</p> <p>第8回 8月24日～ 量的方法の概要：仮説の設定</p> <p>第9回 9月07日～ 質問紙の作成と配布の方法</p> <p>第10回 9月21日～ 質問紙の配布とデータ入力</p> <p>第11回 10月05日～ 関連を検討する：単純集計とクロス集計</p> <p>第12回 10月19日～ 統計的検定</p> <p>第13回 11月02日～ 多変量解析Ⅰ：検定・分散分析・相関分析・回帰分析</p> <p>第14回 11月16日～ 多変量解析Ⅱ：因子分析・信頼性分析</p> <p>第15回 11月30日～ 混合研究法</p> <p>課題レポート提出期限：2027年1月22日〔金〕</p> <p>*提出方法やレポートの詳細については、nfu.jpのスタディ上でご確認ください</p>	
事前学習の内容・学習上の注意	<p>質的研究に関してはリアンプトン（2023）、量的研究に関してはボンシュテット・ノーキ（1992）、混合研究法に関してはクレスウェル（2017）を読みながら、本講義を受講してください。各回の講義で紹介される参考図書も積極的にお読みください。</p>	
本科目の関連科目	—	
テキスト	—	
参考文献	<p>野村康，2017，『社会科学の考え方』名古屋大学出版会</p> <p>小熊英二，2022，『基礎からわかる論文の書き方』講談社</p> <p>パンチ，K. F.，2005，『社会調査入門』春秋社</p> <p>リアンプトン，B.，2023，『質的研究法』メディカルサイエンスインターナショナル</p> <p>ボンシュテット，G. W.，ノーキ，D.，1992，『社会統計学』ハーベスト社</p> <p>クレスウェル，J.，2017『早わかり混合研究法』ナカニシヤ出版</p>	
レポート課題 単位認定方法 と基準	<p>レポート課題は各自の調査と分析の計画です。その内容をみて、評価を行います。</p>	

科目名	福祉社会開発政策・実践論特講	2単位														
担当者	申請に基づく単位認定科目（各専攻において単位認定判定を行う）															
テーマ	福祉社会開発に向けた学際的アプローチを学ぶ															
科目のねらい	<p>&lt;キーワード&gt; 社会的課題、ポジティブ・ウェルフェア、社会保障、社会政策、開発、自立と依存</p> <p>&lt;内容の要約&gt; 複雑・多様化する今日の社会において、単独の学問では解決し得ない社会的課題が生まれている。本科目では、社会的課題の解決に向けた学際的なアプローチを学ぶ。それを踏まえて、自らが専攻する学問の固有性を理解するとともに、他の領域との融合による研究のあり方を考える。</p> <p>&lt;学習目標&gt; 福祉社会開発の視点、価値を自らの研究に活かすことができる。 福祉社会開発研究における多様なアプローチ方法を説明することができる。 社会的課題の解決に向けた研究をデザインすることができる。</p>															
授業の進め方	<table border="1"> <thead> <tr> <th>日程・講師</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>【第1講】 6月14日(日)13:15~16:30 山縣文治先生</td> <td>【講義・演習】子ども虐待への対応と課題</td> </tr> <tr> <td>【第2講】 7月12日(日)13:15~16:30 二木立先生</td> <td>【講義】ファクトで展望する高齢社会日本の医療政策 第1部：国民皆保険制度の現状と改革の論点、今後の見通し 第2部：高市政権の医療・社会保障政策</td> </tr> <tr> <td>【第3講】 9月13日(日)13:15~16:30 宮本太郎先生</td> <td>【講義・演習】セーフティネットの再構築と地域共生社会</td> </tr> <tr> <td>【第4講】 10月4日(日)13:15~16:30 白澤政和先生</td> <td>【講義】AI時代におけるケアマネジメントやソーシャルワーク：超高齢社会を克服する救世主になれるか 【演習】玄関を開けてくれないゴミ屋敷の利用者への関わりを考える：倫理的ジレンマをどう克服するか、どのような方法でアプローチするか</td> </tr> <tr> <td>【第5講】 11月15日(日)13:15~16:30 大橋謙策先生</td> <td>【講義・演習】戦後社会福祉の再検討・転換とコミュニティソーシャルワーク —社会福祉の目的・理念と社会福祉学の性格—</td> </tr> <tr> <td>【第6講】 12月13日(日)13:15~16:30 近藤克則先生</td> <td>【講義】ソーシャル・キャピタル研究25年の歩み 【演習】ソーシャル・キャピタル研究の課題</td> </tr> </tbody> </table> <p>本科目は単位認定申請科目です。 大学院特別公開セミナー※を受講することにより、単位認定申請が可能となります。 ※名古屋キャンパスにて、ハイブリッド形式で開講されます。</p>		日程・講師	内容	【第1講】 6月14日(日)13:15~16:30 山縣文治先生	【講義・演習】子ども虐待への対応と課題	【第2講】 7月12日(日)13:15~16:30 二木立先生	【講義】ファクトで展望する高齢社会日本の医療政策 第1部：国民皆保険制度の現状と改革の論点、今後の見通し 第2部：高市政権の医療・社会保障政策	【第3講】 9月13日(日)13:15~16:30 宮本太郎先生	【講義・演習】セーフティネットの再構築と地域共生社会	【第4講】 10月4日(日)13:15~16:30 白澤政和先生	【講義】AI時代におけるケアマネジメントやソーシャルワーク：超高齢社会を克服する救世主になれるか 【演習】玄関を開けてくれないゴミ屋敷の利用者への関わりを考える：倫理的ジレンマをどう克服するか、どのような方法でアプローチするか	【第5講】 11月15日(日)13:15~16:30 大橋謙策先生	【講義・演習】戦後社会福祉の再検討・転換とコミュニティソーシャルワーク —社会福祉の目的・理念と社会福祉学の性格—	【第6講】 12月13日(日)13:15~16:30 近藤克則先生	【講義】ソーシャル・キャピタル研究25年の歩み 【演習】ソーシャル・キャピタル研究の課題
日程・講師	内容															
【第1講】 6月14日(日)13:15~16:30 山縣文治先生	【講義・演習】子ども虐待への対応と課題															
【第2講】 7月12日(日)13:15~16:30 二木立先生	【講義】ファクトで展望する高齢社会日本の医療政策 第1部：国民皆保険制度の現状と改革の論点、今後の見通し 第2部：高市政権の医療・社会保障政策															
【第3講】 9月13日(日)13:15~16:30 宮本太郎先生	【講義・演習】セーフティネットの再構築と地域共生社会															
【第4講】 10月4日(日)13:15~16:30 白澤政和先生	【講義】AI時代におけるケアマネジメントやソーシャルワーク：超高齢社会を克服する救世主になれるか 【演習】玄関を開けてくれないゴミ屋敷の利用者への関わりを考える：倫理的ジレンマをどう克服するか、どのような方法でアプローチするか															
【第5講】 11月15日(日)13:15~16:30 大橋謙策先生	【講義・演習】戦後社会福祉の再検討・転換とコミュニティソーシャルワーク —社会福祉の目的・理念と社会福祉学の性格—															
【第6講】 12月13日(日)13:15~16:30 近藤克則先生	【講義】ソーシャル・キャピタル研究25年の歩み 【演習】ソーシャル・キャピタル研究の課題															
単位認定申請手順	<p>1. 単位認定申請の手順</p> <p>1) 大学院特別公開セミナーの、参加申込の手続きをおこなう。 申込先...<a href="https://www.n-fukushi.ac.jp/gs/2026/kenkyu/">https://www.n-fukushi.ac.jp/gs/2026/kenkyu/</a> ※本科目は、大学院特別公開セミナーへの参加申込をもって履修登録とします。 <a href="https://www.nfu.jp">nfu.jp</a>上で履修登録をおこなう必要はありません。</p> <p>2) 全6講中5講義以上を受講し、受講後「受講証明書」を受け取る。 ※第1講～第6講の「受講証明書」は、第6講終了後2週間以内に発行します。</p> <p>3) レポート課題の作成。 ※下記「成績評価方法及び基準」欄に示すテーマについてレポートを作成。</p> <p>4) 必要書類（受講証明書・レポート課題）を提出し、単位認定申請をおこなう。 ※単位認定申請の結果は後期成績発表時に通知します。</p> <p>2. 単位認定の申請期限および申請方法</p> <p>1) 提出書類：受講証明書 + レポート課題</p> <p>2) 提出期限：2027年1月4日(月)～1月15日(金)</p> <p>3) 提出方法：窓口提出または <a href="https://www.nfu.jp">nfu.jp</a>「スタディ」内の所定BOXへの提出</p>															
成績評価方法及び基準	<p>大学院特別公開セミナーの受講証明書を提出し、提出したレポートの「合格」判定により単位認定されます。レポートのテーマは、「セミナーを受講し、新たに学んだ点、自身の研究・実践に活かせると考えた点」などについて、A4版(40字×40行程度)3頁以内で作成してください。</p>															